

令和6年度



2 学年学習案内



伊勢市立小俣中学校

目 次

国語	・・・・・・・・・・	p 1～ 2
社会	・・・・・・・・・・	p 3～ 5
数学	・・・・・・・・・・	p 6～ 7
理科	・・・・・・・・・・	p 8～ 9
音楽	・・・・・・・・・・	p 10～11
美術	・・・・・・・・・・	p 12～13
保体	・・・・・・・・・・	p 14～15
技・家	・・・・・・・・・・	p 16～17
英語	・・・・・・・・・・	p 18～20
道徳	・・・・・・・・・・	p 21～22

この学習案内は中学校の1年間で学習する内容です。

国語科の学習

【教科の魅力】

「言葉の力」は、わたしたちの人間形成・社会形成のなかで重要な意味を持っています。

わたしたちは日常的に、「言葉」で感じ、「言葉」で考え、「言葉」で伝えながら生活しています。「言葉」をたくさん持ち、豊かに表現できる人は、自然に感性も豊かになっていきます。また、自分の考えや思いを適切なことばで表現したり、相手と伝え合ったりすることができることは、とても嬉しいことです。

「言葉」の感性を磨き、素敵な日本語の使い手となって、相手のことを理解したり自分のことを伝えたりしながら、心と心がつながる喜びを感じてほしいです。

【国語科の学習を楽しむには】

○「国語科」はみなさんの発言で成り立つ教科です。

『授業はまちがえる場だ』をモットーに、発言が飛び交う活発な授業をつくりましょう。

○伝え、伝わる喜びを味わうために、すすんで表現(話したり書いたり)しましょう。

○与えられた学習課題に対して、意欲的に答えを探るようにしましょう。

どんなことも『やらされている』と思えばつまらないし、『まかせておけ』という気持ちでやれば楽しいです。難しい問題ほど、答えにたどり着いた時の達成感は大きいです。

○「いつ」「どこで」「だれに」を考えて、正しい日本語で伝え合ひましょう。

正しい日本語が使えると、社会人として高く評価されます。

○どんなことでもよいので、何か一つ『得意なこと』をつくりましょう。

(例えば、「美しい字が書ける」「ことわざに強い」「暗唱できる作品がある」など。)

得意なことがあると、自信が持て、やる気もわいてきます。

1 定期テストの勉強方法

○学校の定期テストは、自分の参考書(授業で使っている自分のノート)が頼りになります。

そのためには毎日の授業で、集中して先生の話や仲間の意見を聞き、黒板に書いてあること以外にも大事なポイントや、気づいたこと・学んだことなどを工夫して書くとよいです。

○「漢字」は、テスト範囲のものを覚えるまで書く。見るだけでは、覚えにくいです。

○「慣用句・四字熟語・ことわざ」等は、学習プリントやワークブック、資料集などを見て覚えながら書きましょう。単語帳のようなものにまとめ直すのも効果的です。

○「文法」は練習問題をたくさんやり、わからない問題は先生に聞くなどして解決しましょう。

○テスト範囲の教材文は繰り返し読みましょう。文章中の言葉の意味や、接続語、指示語に注意しましょう。

○テスト範囲を教科書・ノートや学習プリント、ワークブック等で復習しながら、学習ポイントをふり返りましょう。

2 家庭学習のポイント

○教科書を何度も読む。(声に出したり、黙読したりする。特にすらすら読めるようになるまで声に出して読む。)

○漢字小テストにあわせて漢字を何度も書いて、着実に覚える。(漢字練習用ノートを作るとよい。)

○その日に学習したことを、ノートを見ながらふり返る。

○学習している教材は、授業の進度に合わせて家で教科書やノート、プリント等で復習する。

○国語の問題集(教科書以外の内容)を1冊やりきる。

○身の回りのことや社会的事象に意見を持ち、意識して文章に表したり発言したりする。

○日常的に読書に親しみ、新聞のコラムや好きな記事を継続的に読む習慣をつける。

Ⅱ 国語科の学習の評価について 学びを楽しもう

Ⅲ 年間指導計画

【国語】科では、こんな方法で
みなさんの学習を評価しています。

教科の観点	具体的な生徒の表れ(例)
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。 ・古典特有のリズムを味わいながら古文や漢文を音読することができる。 ・古典に表れた物の見方や考え方に触れ、当時の人々の思いを想像することができる。 ・漢字や仮名など、字形を整え、大きさや配列、配置に気をつけて書くとともに、漢字に対して関心を持ち、漢字を書いたり読んだりする力を伸ばすことができる。 ・文法を正しく理解して、文節相互の関係や単語について理解を深め、段落の役割や文と文との接続関係、文の組立に役立てることができる。 ・慣用句・四字熟語・ことわざに関心を持ち、意味を理解して、自分の表現に役立てることができる。 ・文章の組立や展開、説明や描写などの表現のしかたや、文体などの文章の特徴に注意して読むことができ、さらに読み取ったことを自分の表現に役立てることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・文章を読んで、人間・社会・自然などについて考え、さらに情報を集め、自分のものの見方や考え方を広げることができる。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する)	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えたかどうか見ます。 ・正しい発音・表記・表現に努め、常に「正しい日本語」を意識して話したり書いたり聞いたりしている。
【備考】 授業への取り組み、提出物や宿題、小テストや定期テストなどを、これらの観点で評価して成績をつけます。「話す」「聞く」「書く」「読む」の基礎となる「国語の特質に関する事項(言葉の特徴やきまり、漢字、書写)の知識・理解・技能」は高めておきたいものです。	

4	1 広がる学びへ ・見えないだけ
5	・アイスプラネット ・枕草子 ・多様な方法で情報を集めよう ・漢字1 2 多様な視点から ・クマゼミの増加の原因を探る
6	・魅力的な提案をしよう ・メディアを比べよう ・言葉1 3 言葉と向き合う ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉を比べよう ・言葉の力
7	・文法1 ・読書生活を豊かに 4 人間のきずな ・盆土産
9	・字のない葉書 ・表現を工夫して書こう 5 論理を捉えて ・モアイは語る
10	・言葉2 ・漢字2 ・月夜の浜辺 6 いにしえの心を訪ねる ・平家物語 ・扇の的 ・書写 毛筆
11	・漢詩の風景① ・百人一首
12	7 価値を語る ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・文法2
1	・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景②
2	8 表現を見つめる ・走れメロス ・文法3 ・言葉3 ・漢字3
3	・国語の学びを振り返ろう ・木

学習の進め方(第2学年社会)

1 社会の学習でめざすこと

- ◎日本や世界の地理や歴史に関心を持ち、意欲的に学習に取り組めるようになる。
- ◎地理的、歴史的事象から課題を見つけ、その因果関係をとらえ、広い視野から公正に判断できるようになる。
- ◎様々な資料を適切に選択、活用して、地理的、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、適切に表現できるようになる。
- ◎地理的、歴史的事象について理解し、その知識を正しく身につける。
- ◎日本や世界の歴史・政治・経済に関心を持ち、意欲的に学習に取り組めるようになる。
- ◎国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2 学習を進めるにあたって

使 用 教 材	教科書 新しい社会地理(東京書籍) 中学社会歴史的分野(日本文教出版) 中学校社会科地図(帝国書院) 副教材 地理の学習2(浜島書店) 歴史の学習2・3(浜島書店)	も ち も の	教科書、地図帳、iPad ファイル(必要に応じて)、 ワーク(必要に応じて)
学 習 の 進 め 方	◎1日3つ授業の中で新しい知識を身につけよう。 ◎資料から考えられることを自分で考えることや文章で書くこと、発表をしていこう。 ◎自分の学習を常に振り返り、疑問や理解できていない内容については、先生や友だちに質問するなど自分ができるように取り組んでいこう。 ◎班や友だちと交流を通して問題を出し合うなどして自分や、まわりの力を高めていこう。 ◎家でワークなどに取り組み復習をしていこう。 ◎提出物は終わってから確認をして、ミスがないようにしていこう。		

	◎定期テスト前には、計画をたて、見通しを持って学習していこう。定期テストの範囲は、テスト発表時に通知します。 ◎自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけていこう。
学	◎チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席していること。
習	◎授業の用意を忘れないこと。
上	◎板書されたことや気づいたこと、感想などはノート・ファイルに工夫してまとめておくこと。
注	◎プリント・ワーク・レポートなどの提出は、提出期限を守ること。
意	◎先生や友だちの話や発表を、しっかり聞けるようにすること。
な	◎積極的に授業に参加していくという気持ちを持つてのぞむこと。
ど	◎授業中はできるかぎり質問に対し、意見や答えを述べること。

3 学習内容および評価について

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 学 習	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法
1 学期	4	日本の地域的特色と地域区分	テスト①	知識	・資料活用の方法を身につけているか。	・発表など
	5	日本の諸地域 ・九州地方		理解	・さまざまな統計・資料などを読み取ることができるか。	・資料活用作業
	6	・中国・四国地方 ・近畿地方		技能	・地理、歴史の基本事項について理解しているか。	・定期テスト
	7	・中部地方 ・関東地方				・小テスト
						・パフォーマンス課題(レポートなど)
2	8	・東北地方				・ポートフォリオ等 ・実力テスト

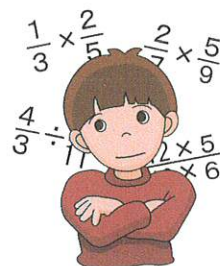
学期	9	・北海道地方 地域の在り方	テスト②	思考	・地理的、歴史的事象を、複数の視点 ・で考えることができるか。	・発表 ・プリント
	10	近世の日本と世界 ・中世から近世へ		判断	・自分の考えを、まとめて発表するこ ・とができるか。	・定期テスト ・小テスト
	11	・江戸幕府の成立と東ア ジア		表現	・自分の考えを、適切に書き表すこ とができるか。	・パフォーマンス課 題(レポートなど) ・ポートフォリオ等 ・実力テスト
		・産業の発達と元禄文化				
	12	・幕府政治の改革と農村 の変化				
3 学期	1	近代の日本と世界	テスト④	主体的に	・地理的、歴史的事象に関心を持って いる。	・学習態度 ・発表
	2	・欧米の発展とアジアの 植民地化		取り組む態度	・提出物をきちんと提出できる。 ・自分なりに社会課題を考えて、解決 をしようと取り組むことができる。 ・世界の地域に関わる諸事象につい て、国家及び社会の担い手として、 よりよい社会の実現を視野にそこで 見られる課題を主体的に追究、解決 しようとしている。 ・歴史に関わる諸事象について、国 家及び社会の担い手として、よりよ い社会の実現を視野にそこで見ら れる課題を主体的に追究、解決しよ うとしている。	・提出物(ワーク、プ リント等) ・プリント・レポート などの記述 ・パフォーマンス課 題(レポートなど) ・ポートフォリオ等 ・実力テスト ・定期テスト ・小テスト
	3	・近世から近代へ ・近代国家へのあゆみ ・立憲制国家の成立 ・日清・日露の戦争と東 アジアの動き ・近代の日本の社会と文 化				

I 数学科の学習の取り組みについて

数学科の学習

【教科の魅力】

数学は、さまざまな時代に研究され、人々の生活や科学の進歩に役立ってきました。私たちの身の回りにはいろいろな数量や図形があふれています。数学科では試行錯誤して法則を発見するおもしろさを味わうことができ、物事を豊かに考える態度を養うことができます。



【学習で大切なこと】

- 「なぜ、そうなるのだろう」と根拠をはっきりさせるようにしましょう。
- 学んだことを簡単にわかったつもりにならないで、とことん納得のいくまで考えてみましょう。追究の後に、驚きや発見があります。

1. 定期テストの勉強方法

- 授業で行った内容を教科書やノートで確認し、用語や計算方法の仕組みを再確認しましょう。
- 間違えた問題やわからなかった問題はわかるまで何度でもやり直しましょう。

2. 家庭学習のポイント

- 予習の仕方
 - ・教科書で次の授業内容を調べ、疑問に思った部分をチェックしましょう。
- 復習の仕方
 - ・ノート・プリントを見直す。
 - ※授業で行った例題を、問題だけ見てもう一度解きましょう。
 - ・学習した範囲の問題集を進めます。
 - ※その場ですぐに答え合わせをしましょう。
 - ※答えを写すだけでなく、なぜそうなるのか考えましょう。
- 発展的な学習の仕方
 - ・「答えが出たら終わり」にせず、どうしてそうなっているのだろう、どうしたらうまくいくだろう、とつねに追究しながら考えていきましょう。
- 問題集の活用
 - ・問題集を使って、基礎的な計算問題の定着を図りましょう。
- 計算問題
 - ・計算ミスをなくすには、途中の式を必ず書くようにするといいでしょう。
- タブレットの活用
 - ・ミライシードを使って学習内容を確認しましょう。

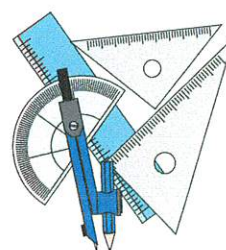
Ⅱ 数学科の学習の評価について

数学科では、このような方法で皆さんの学習を評価しています。

教科の観点	具体的にどこを見るか
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についているかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・できることをどう使うか)	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する)	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を見ます。
【備考】 - 以上のデータをもとにして、各観点を3段階で評価します。 - テストだけで評価していないので、授業、提出物や宿題、問題集など一生懸命取り組みれば、よい評価につながります。毎日の努力を大切にしましょう。	

Ⅲ 数学科年間計画

月	2年
4 5	式の計算 ・ 式の計算 ・ 文字式の利用
6	連立方程式 ・ 連立方程式 ・ 連立方程式の利用
7	一次関数 ・ 一次関数とグラフ ・ 一次関数と方程式
9	一次関数 ・ 一次関数と方程式 ・ 一次関数の利用
10	図形の調べ方 ・ 平行と合同
11	図形の調べ方 ・ 証明
12	図形の性質と証明 ・ 三角形 ・ 四角形
1	図形の性質と証明 ・ 四角形
2	場合の数と確率 ・ 場合の数と確率 箱ひげ図とデータの活用 ・ 箱ひげ図
3	箱ひげ図とデータの活用 ・ 箱ひげ図 2年生のまとめ



中学校 2年生 理科 学習案内

1 目標

(第1分野)

- 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
- 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

(第2分野)

- 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
- 生命や地球に関する事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

2 学習の進め方

【使用教科書】 未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- 「生物の体のつくりとはたらき」では、細胞の観察などを通して、観察の方法、観察・実験器具の扱い方及び観察の記録の方法など、生物を調べる方法の基本を習得しよう。さらに、消化、呼吸、血液循環、感覚器官と神経、骨格と筋肉などの動物の体のつくりの学習を通して、生物の多様性や共通性の観点からみる見方や考え方を養おう。
- 「地球の大気と天気の変化」では、気象現象の継続的な観察や観測を通して天気の変化の規則性を見いだし、大気中で起こる様々な自然現象の変化の様子を科学的にとらえ、それらのデータを総合的に考察する力を養おう。
- 「化学変化と原子・分子」では、分解や化合などの化学変化についての観察、実験を行い、物質の変化やその量的な関係について理解し、原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養おう。
- 「電流とその利用」では、回路をつくって観察、実験を行い、電流に関して量的な関係を見出したり、電気とエネルギーの関係をとりえたりしよう。さらに、磁石やコイルを使って磁界や発電のしくみについて理解し、日常生活や社会と関連させながら初歩的な見方や考え方を養おう。

○家庭学習の例

- 学習内容を日常生活や社会と関連付けながら、科学の有用性を考え、総合的な見方や考え方が出来るようにしよう。
- 学校で学習した内容について、系統性を考えて復習するとともに、自分の考えを表現できるようにしよう。

○定期テストへの取組の例

- 教科書やノートで基礎的、基本的な知識や、観察、実験の目的や方法、結果等について確認しよう。
- 学習内容を身近な事物・現象と関連付けながら、その原理や仕組みについて確認しよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いたかどうかを見ます。 ・テスト(定期テストや小テストなど) ・実験観察の態度、技能 ・レポートの構成の工夫 など
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養えたかどうかを見ます。 ・テスト(定期テストや小テストなど) ・実験観察結果やまとめの考察 ・レポートの考察内容 ・授業態度・発表 など
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	自然の事物、現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養えたかどうかを見ます。 ・授業態度、発表、忘れ物 ・レポートやノート等の提出物 ・各種レポートにおける感想・考察 など

【備考】

- 授業以外に、日常の生活の中で理科と関わりを持ったり、関わりを持ったものを見つけようとしたりする姿勢が望ましいでしょう。
- 定期テストは6・9・11・2月に実施します。

4 学習内容について

時期	単元	評価の規準
4月	○【生命】 生物の体のつくりとはたらき ・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ	【知識・技能】 ・生物、植物・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴、葉・茎・根の つくりとはたらき、生命を維持するはたらき、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・生物と細胞、植物の体のつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物、植物・動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物と細胞、植物の体のつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらき、動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7月	○【物質】 化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量の規則性	【知識・技能】 ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子、2種類の物質が結びつく化学変化や化学変化における酸化と還元、化学変化と熱、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験・化学変化の表し方などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・物質の成り立ち・化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験・モデルを使った実習などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の成り立ち・物質の成り立ち・化学変化・化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
11月	○【エネルギー】 電流とその利用 ・1章 電流の性質 ・2章 電流の正体 ・3章 電流と磁界	【知識・技能】 ・電流、静電気、電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギー、静電気と電流の関係や電子、放射線、電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・電流、静電気や電子、電流と磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気や陰極線、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流、電流と磁界に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1月	○【地球】 地球の大気と天気の変化 ・地球をとり巻く大気のように ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	【知識・技能】 ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

I 音楽科の学習の取り組みについて

音楽科の学習

【教科の魅力】

みなさんは、美しい音楽を聴いて胸が熱くなったり、思い切り歌った後に感動して涙が出そうになったりした経験はありませんか。音楽には、人の心を動かし感動を与える素晴らしい力があります。私たちは美しい音楽を聴いたり歌ったりすることを通して、心が磨かれ、豊かになっていきます。音楽を学ぶということは、豊かな心を育て、人間としての成長を手助けすることにつながるのです。

【学習で大切なこと】

- 恥ずかしがらずに堂々と表情豊かに表現しましょう。
- 楽譜などを参考にして、どのように表現するか主体的に考え、それについて言葉で表現してみましょう。
- その授業のめあてを意識しながら取り組み、振り返りをていねいに行いましょう。
- 鑑賞をすることが豊かな表現につながり、表現することが感性を磨いていきます。どちらも大切にしましょう。

1. 定期テストの勉強方法

- 教科書や楽譜を見直し、どのように表現したか思い出してみましょう。
- 鑑賞では、作曲者や楽曲について復習しましょう。

2. 家庭学習のポイント

- 予習・復習について
 - ・ 家庭学習は特に必要ありません。「もっとうまくなりたい」と思う人は、楽譜、教科書等を持ち帰り、家でも歌ってみるといいでしょう。
 - ・ 楽譜に出てくる速度標語、強弱記号などをチェックし、読み方や意味などを確認しておくのもいいでしょう。
- 生活の中の音楽
 - ・ 音楽を生活の中に取り入れ、明るく豊かな生活を送ることをめざしましょう。
- 発展的な学習の仕方
 - ・ どんなジャンルの音楽にも興味を持ち、鑑賞してみましょう。
 - ・ 演奏会など、本物の音楽に触れる機会を持ちましょう。

Ⅱ 音楽科の学習の評価について

音楽科では、このような3つの観点でみなさんの学習を評価しています。

評価の観点	具体的な生徒の現れ（例）
知識・技能 （何を理解しているか・何ができるか）	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に着けたかを見ます。 （例）※定期テスト、ワークシート ※授業中の様子 ※実技テスト（音程・リズムを正確に演奏することができるか）
思考力・判断力・表現力 （理解していること・できることをどう使うか）	・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができるようになったかを見ます。 （例）※定期テスト、ワークシート ※授業中の様子 ※実技テスト（強弱、表情など表現豊かに演奏することができるか）
主体的に学習に取り組む態度 （粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する）	・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものしようとする態度を見ます。 （例）※自己評価表への取り組み ※授業中の様子（積極的に自分の考えや気づいたことなどを交流しているか） ※定期テスト、ワークシート

Ⅲ 年間指導計画

月	2年
4	・「翼をください」 ・鑑賞「フーガト短調」
5	・「いのちの歌」
6	・歌唱テスト「いのちの歌」 ・クラス合唱曲の選曲
7	・合唱練習
8	・各クラス自由曲
9	・パート練習、合唱練習 ・定期テスト②
10	・合唱練習 ・文化祭発表
11	・鑑賞「アイーダ」 ・リズムアンサンブル
12	・「夏の思い出」
1	・歌唱テスト「夏の思い出」 ・「旅立ちの日に」 ・鑑賞「交響曲第5番」
2	・「Believe」 ・学年末テスト
3	・「Believe」 ・1年間のまとめ



【1】美術科の学習でめざすもの

- 対象や意図に応じて自分の表現方法を追及し、創造的にあらわすことができる。
- 天然の造形物や事象、美術作品などの美しさを鑑賞し、美術の社会的な役割について考え自分の言葉であらわし他者へ伝えることができる。
- 自ら美術に関心を持ち美術を愛好する心を育み、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【2】学習を進めるにあたって

〈授業への取組〉

- スケッチやデッサンなどの練習を通じ描画力を高めて自分のあらわしたいことを的確に表現できる力をつける。表現することにより自己の人間性を成長させる。
- 作品鑑賞をすることにより多様な表現を尊重し、他者を理解する精神を学ぶ。

〈家庭学習について〉

- 課題に応じて必要な資料を集める。
- 日常生活の中にある「美しさ」について考える機会を持ち日常の行動に反映させていく。
- 目に見える物や自分の感じたことや考えたことを視覚表現であらわすことを構想する。

〈定期テストについて〉

- 資料などを参考にしてデッサンなど基礎技術を高める訓練をする。
- 教科書や資料集を参考に美術の基礎知識や美術文化・美術史についての知識の充実を図る。

【3】学習内容について

期	月	内 容	期	月	内 容
前 期	4	○オリエンテーション ○クロッキー、鉛筆画	後 期	10	文化祭展示(空想画)
	5	○絵画：空想画 ○作品鑑賞		11	立体：アートボックス(紙箱、粘土、彩色) ○作品鑑賞
	8	◇ポスター制作(夏休みの自由課題)		2	定期テスト ※知識
	9	定期テスト ※実技＋知識			○作品鑑賞

【4】評価について

観 点		評価の場面・方法
知識・技能	◆対象や事象をとらえる視点について理解しているかどうかを見る ◆表現方法を創意工夫し、創造的にあらわしているかどうかを見る	○制作作品 ○制作シート ○制作シート
思考・判断・表現	◆造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めているかどうか見る	○制作作品 ○制作シート ○定期テスト ○授業中の態度
主体的に学習に取り組む態度	◆美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現することができるかどうか、鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしているかどうかを見る	○授業中の態度 ○制作作品

I 保健体育科の学習の取組について

学びを楽しもう

保健体育科の学習

【教科の魅力】

生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現及び健康の保持増進の基礎を培う教科です。体育分野では、仲間と共に自ら進んで運動に取り組む中で、自己の体力を向上することができます。また、競争や試合などの経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する等の態度を養います。保健分野では、自分の体について知り、健康な生活をおくるために必要な技能や態度を身につけることができます。

【保健体育科の学習を楽しむには】

- どの種目も積極的に参加し、自分の力を発揮できるように努力しましょう。
- 自己の記録や能力に応じて、自分の課題に応じた練習を見つけ、周りの仲間とかかわりながら、技能の向上を目指しましょう。そして、達成感を体得しましょう。
- 全員で協力し、ルールやマナーを守り、お互いに認め合い、教え合い、励まし合いながら高め合う活動にしましょう。
- いつでも運動ができるように、自分の健康を管理しましょう。
- 自らの健康の保持増進を図るため、現在の自分の生活や行動を見つめ、考えていきましょう。

〈家庭学習のポイント〉

【発展的な学習の仕方】

- 健康の保持増進のために、自分の身体を理解し、食事や睡眠について関心を持ちましょう。
- 生活のリズムを整え、健康に気を配り、丈夫な身体を作りましょう。
- 新体力テストの結果から、自己の現状を把握し課題を見付け、補強運動などを継続的に取り組みましょう。
- 各種のスポーツに興味をもち、いろいろなTV中継などを見ましょう。

II 保健体育科の学習の評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けたかどうかを見ます。 ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていたかどうかを見ます。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動しようとしたかどうかを見ます。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養えたかどうかを見ます。



年間指導計画



2 年	
4 月 5 月	オリエンテーション 集団行動・ラジオ体操 新体カテスト 体 っ く り 運 動（体ほぐしの運動を含む） 保健（健康な生活と疾病の予防）
6 月	陸上競技（ハードル走） 球技（バレーボール） 体育理論 保健（健康な生活と疾病の予防）
7 月	陸上競技（ハードル走） 球技（バレーボール） 水泳の事故防止に関する心得
9 月	集団行動 器械運動（マット運動） 球技（ソフトボール）
10 月	器械運動（マット運動） 球技（ソフトボール） 保健（傷害の防止）
11 月	陸上競技（長距離走） 体 っ く り 運 動（体ほぐしの運動を含む） 保健（傷害の防止）
12 月	陸上競技（長距離走） 武道（相撲） ダンス
1 月	球技（バスケットボール） 球技（サッカー） ダンス 保健（傷害の防止）
2 月	球技（バスケットボール） 球技（サッカー） 保健（傷害の防止）
3 月	球技（バドミントン・卓球・ソフトテニス）

第2学年 技術・家庭科（技術分野） 学習案内

1. 目標

- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギーの変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 指導計画

月	「材料と加工の技術」，「情報の技術」
4	○オリエンテーション 技術分野のガイダンス ○材料と加工の技術
5	・身の回りの材料と加工の技術 ・作業を安全に楽しく進めよう！
6	——— 実習丸太を切ろう！ ——— ・木材の特性 ・金属の特性 ・プラスチックの特性
7	○材料に適した加工方法 ○丈夫な製品を作るために ○材料と加工の技術の工夫を読み取ろう
9	○問題を発見し、課題を設定しよう ○製作品を構想し、設計しよう
10	○製図 ・等角図 ・第三角法による正投影図
11	——— 実習木材加工 ——— ○製作の計画を立てよう
12	○作業手順を考えて製作しよう
1	○これからの材料と加工の技術 ○木材加工の実習を振り返って
2	——— 実習プログラミング ———
3	○プログラムの設計・製作 ・計測・制御のプログラミングをしよう ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングをしよう

＜授業で使用するもの＞

- 教科書（東京書籍）
- ワーク（正進社）
- プリント
- 実習教材 など



3. 評価

観点	主な具体的な内容
知識・技能 (何を理解しているか、 何ができるか)	- 学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。 - 実習では、必要な道具や工具を安全かつ適切に使用することができる。 - 実習では、集中して作業し、構想通りに完成させることができる。 - 実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、 できることをどう使うか)	- 生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。 - 実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。
主体的に学習に 取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	- 始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。 - 授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。 - 授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。 - 提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。

第2学年 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

1. 目標

- ・ 食生活や食文化についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、食生活や食文化の健康や社会、環境との関わりについて理解しよう。
- ・ 食生活に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、食生活での技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用しよう。
- ・ 進んで食生活と関わろうとするとともに、主体的に食に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に工夫し創造しよう。

2. 指導計画

月	「私たちの食生活」
4	家庭分野で何を学ぶか 1 食事の役割と中学生の栄養の特徴 1 どうして食事をするのだろう 2 私たちの食生活
5	3 中学生に必要な栄養 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 1 食品に含まれる栄養素
6	2 何をどれくらい食べればよいか 3 バランスの良い献立作り 3 調理のための食品の選択と購入
7	1 食品の選択と購入 2 生鮮食品の特徴 3 加工食品の特徴 4 食品の保存と食中毒の防止
8	
9	4 日常食の調理と地域の食文化
10	1 日常食の調理
11	2 野菜・いもの調理
12	3 肉の調理
1	4 魚の調理
2	5 日本の食文化と和食の調理
3	6 持続可能な食生活を目指して 学習のまとめ

3. 評価

観点	主な具体的な内容
知識・技能 (何を理解しているか、 何ができるか)	・ 学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。 ・ 実習では、必要な道具を安全かつ適切に使用することができる。 ・ 実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、 できることをどう使うか)	・ 生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。 ・ 実習では、創意工夫を凝らし、実生活にいかせるよう考え、考えた意見を発表できる。
主体的に学習に 取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・ 始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。 ・ 授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。 ・ 授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。 ・ 提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。

2 年生 英語科 学習案内

1 目標

- ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

これからの時代を生き抜いていく上で、英語はなくてはならないものの一つです。コミュニケーション手段としての英語だけでなく、英語を通して世界を知る、さまざまな文化・人々を理解する魅力があります。

2 学習の進め方

使用教材	・教科書 BLUE SKY 2 ・英語ノート ・Let's Enjoy BINGO! ・JOYFUL WORKBOOK 2 ・語順トレーニング ・e-Pilot ・自作プリントなど	持ち物準備	・教科書 BLUE SKY 2 ・英語ノート ・Let's Enjoy BINGO! ・JOYFUL WORKBOOK 2 ・語順トレーニング ・ファイル ・e-Pilot
------	--	-------	--

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○ 授業への取組

- ・ 1年生での学習を基にして、英語を聞く、話す、読む、書くことに関心をもち、ペアワーク・グループワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しよう。
- ・ 学習した英語をよく聞いたり読んだりして、話し手や書き手の表現している内容を理解する力を身に付けよう。
- ・ 学習した英語を使って話したり書いたりして、自分の考えなどを表現する力を身に付けよう。
- ・ 英語の表現方法や言葉のルールを理解するとともに、外国語を使用する人々の文化を理解する力を身に付けよう。
- ・ 大きな声で発音し、間違いを恐れずどんどん発表し、先生の話や他の人の発表を真剣に聞こう。
- ・ 誰とでもペアワーク・グループワークができるように協力しあい、楽しい雰囲気での学習を進めよう。
- ・ ALT に積極的に英語で話しかけよう。

○ 家庭学習の取組

- ・ 予習として、次に学習する新出単語や本文を調べてみよう。
- ・ 復習として、習った教科書の本文や基本文を5回以上声に出して読んだり書いたりして、内容を確認しよう。
- ・ 宿題やワークについて、積極的かつ計画的に取り組み、授業の復習をしよう。
- ・ 予習復習では、1年生での学習を常に振り返りながら進めよう。
- ・ ふだんから英語の歌や映画の他、スポーツや料理など自分の興味に応じて、外国での様子を調べてみよう。

○ 定期テストへの取組

- ・ 教科書を繰り返し音読し、単語・基本文・本文を覚え、また、語彙を増やそう。
- ・ 英語の表現方法や言葉のルールを復習し、ワーク・プリント・ノートを見直し、ワークをくり返ししてみよう。
- ・ テスト前の授業は特に集中し、範囲内の重要箇所、単語や英文をマスターしよう。

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか、 何ができるか)	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおける活用できる技能が身に付いたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・できる ことをどう使うか)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む 態度(粘り強く努力すると ともに自らの学習を調整する)	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養えたかどうかを見ます。
備 考	- 以上のデータをもとにして、各観点を5段階 A°A B C°C で評価します。 - テストだけでは評価をしませんので、コミュニケーションに向かう姿勢、授業、提出物や宿題等に真摯に取り組めば、より良い評価につながります。日々の努力を大切にしてください。

4 年間指導計画と学習活動

月	Unit (単元) テーマ	項目	学習内容
4	Unit1 What Is Hero? やなせたかしさんが考える ヒーローとは?	Part 1 ~ 3	① There is(are)~, の文 ② 接続詞when ③ was(were) ~ing過去進行形
		Read & Think	A True Hero (説明文)アンパンマン誕生秘話
		Express Yourself	アニメやマンガのキャラクターを説明する
		More Information	アンパンマンマーチ
	Let's Talk1	待ち合わせ	場所を伝える(In front of/next to)
5	Unit2 Traveling Overseas 海外旅行	Part 1 ~ 3	①will+動詞の原形 未来の文 ②be going to+動詞の原形 未来の文 ③must+動詞の原形
		Read & Think	The Maori in New Zealand(対話文)ニュージーランドのマオリ族
		Express Yourself	海外旅行の計画を発表する
		More Information	ニュージーランド
	Let's Talk2	旅行の準備	しなければならないことを言う(have to/don't have to)
6	Unit3 In Case of Emergency 災害に備えて	Part 1 ~ 3	① 接続詞 if ② 接続詞 because ③ 接続詞 that
		Read & Think	Emergency Parks (説明文)防災公園
		Express Yourself	非常用防災袋に入りたい防災用品を発表する
		More Information	簡易ランタンの作り方
		Targetのまとめ① 助動詞	助動詞
		Targetのまとめ② 接続詞	接続詞
7	Let's Talk3	体調	助言する(should)
	Let's Listen1	天気予報	天気や気温を聞き取る／つながる音
	Project1	学校を紹介しよう	ホームページに載せる学校紹介を書いて発表する
8	Unit4 My Future Dream 将来の夢	Part 1 ~ 3	①動名詞 ②to+動詞の原形 不定詞(名詞的用法)③It is ...(for+人) to動詞の原形(不定詞)
		Read & Think	Sign Language Robot(説明文)中学生が作った手話通訳ロボット
		Express Yourself	将来の夢を発表しよう
		More Information	手話通訳ロボットと指文字
	Let's Talk4	レストラン	ほしいものやしたいことをていねいに言う(would like/would like to)
10	Unit5 Festivals Have Meanings 祭りの背景	Part 1 ~ 3	①② to+動詞の原形 不定詞(副詞的用法) ③ to+動詞の原形 不定詞(形容詞的用法)
		Read & Think	Nagaoka Fireworks(説明文)長岡花火の背景
		Express Yourself	学校の行事を説明する
		More Information	世界のさまざまな祭り
	Let's Talk5	機内	ていねいに依頼する(Could you ~, please? / Could I ~, please?)
11	Unit6 Unique Animals 動物のめずらしい生態	Part 1 ~ 3	①SVC (look+形容詞) ②SVOO (giveなど+人+もの) ③SVOOC=名詞 (callなど+ A+B)
		Read & Think	Sloths (対話文)ナマケモノの不思議な生態
		Express Yourself	動物の生態を紹介する
		More Information	動物の不思議な生態
		Targetのまとめ③ 動名詞・不定詞	動名詞・不定詞
		Targetのまとめ④ 英語の語順	英語の語順
12	Let's Talk6	道案内	バスでの行き方などをたずねる(Which ~? / How often ~?)
	Let's Listen2	搭乗案内	飛行機のフライト情報を聞き取る／聞こえなくなる音
	Project2	あこがれの職業を発表しよう	あこがれの職業についてスピーチ原稿を書いて、発表する
1	Unit7 Let's Compare データを比較しよう	Part 1 ~ 3	①比較級、最上級 (~er, the ~est)②比較級、最上級 (more~, the most~)③ as ~ as... (同等比較)
		Read & Think	Popular Sports in New Zealand (対話文)日本とニュージーランドの人気スポーツ比較
		Express Yourself	睡眠時間を比較して発表する
		More Information	ネットボール
	Let's Talk7	ショッピング	サイズについての希望などを伝える(try~on/too~/a bigger one)
2	Unit8 Working Overseas 海外で働く日本人	Part 1 ~ 3	① 受け身 ② 受け身の疑問文・否定文 ③ 助動詞をふくむ受け身
		Read & Think	Save Elephants in Kenya (インタビュー)アフリカゾウの保護に取り組む滝田明日香さんへのインタビュー
		Express Yourself	将来、海外でしてみたいことを発表する
		More Information	ケニア
		Targetのまとめ⑤ 比較表現	比較表現
		Targetのまとめ⑥ 受け身	受け身
3	Let's Talk8	電話	相手を誘う (Would you like to ~?)
	Let's Listen3	場内アナウンス	何時に何が行われるかを聞き取る／変わる音
	Project3	自分の意見を言おう	都会と田舎のどちらが好きかについて自分の意見を書いて発表する
	Let's Read		The Zoo (英語落語)喜六が動物園で始めた新しい仕事は

I 道徳科の学習の取り組みについて

1. 道徳科の目標（2年生）

- ① 自分自身を振り返り、落ち着いて学校生活を送るための生活習慣を身につける。
- ② 日常を含め、様々な活動を通じて、相手の立場で考え、行動できる力を身につける。
- ③ 将来の夢について考え、夢の実現のために必要な責任感や、社会性、最後までやり抜く意志を育てる。

2. 主に学習すること

道徳の時間に指導したい内容を次の4つの視点から分類し、「心を磨き」ます。

- ① 自分自身のこと
 - ・心も体も元気でいましょう。・より高い目標を目指してやり抜く強い心を持ちましょう。
 - ・自分で考え判断して行動しましょう。・理想をもって前向きに過ごしましょう。
- ② 他の人との関わり
 - ・時と場に応じた言動をとれるようにしましょう。・周りの人への温かい思いやりの心を持ちましょう。・友という宝をもちましょう。・認め合い学びあう心を持ちましょう。
- ③ 自然や崇高なものとの関わり
 - ・それぞれたった一つの自他の生命を大切にしましょう。・自然のすばらしさに感動できる心を持ちましょう。・人には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを知りましょう。
- ④ 社会や集団との関り
 - ・法律やきまりを守ることの大切さを知ろう。・正義を信じ、不正を許さない心を持ちましょう。・自分の役割や責任を自覚して、社会の力になりましょう。・家族の一員であることを意識しましょう。・自分の学校や仲間に誇りをもって、さらによくしていきましょう。・国を愛して、この国に生きる気概（困難にくじけない強い意志）を持ちましょう。・ひとりの人間として世界に目を向け、平和や幸せを考えられるようにしましょう。

3. 教科の学習方法

- ① 読み物教材の登場人物へのかかわりが中心になる学習
登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的に考えることなどを通して、理解を深めましょう。
- ② 問題解決的な学習
問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を考え、生きていく上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養いましょう。
- ③ 道徳行為に関する体験的な学習
役割演技などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養いましょう。

II 道徳科の学習の評価について

（観点）① 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させている。

② 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている。

（資料）・授業中の発言等の様子・ワークシート、ポートフォリオ・自己評価（ふりかえり表）

（評価）上記の観点について、個人の成長を励ます個人内評価を、記述式で行う。

Ⅲ学習計画

月	回	内容・教材名	内容項目
4	1	自己紹介、作文「2年生になって」	B9 相互理解、寛容
	2	個人目標、学級目標づくり	A3 向上心、個性の伸長
5	3	テニス部の危機	C15 よりよい学校生活、集団生活の充実
	4	カラカラカラ	A1 自主、自律、自由と責任
	5	ジコチュウ	B9 相互理解、寛容
6	6	命が生まれるそのときに	D19 生命の尊さ
	7	松葉づえ	B8 友情、信頼
	8	あと一歩だけ、前に	D22 よりよく生きる喜び
	9	平和学習（折り鶴作成）	C18 国際理解、国際貢献 D19 生命の尊さ
7	10	許せないよね	A1 自主、自律、自由と責任
	11	夢中になるのは悪いこと？	A2 節度、節制
8	12	むこう岸には	C18 国際理解、国際貢献
9	13	異なり記念日	C14 家族愛、家庭生活の充実
	14	一枚の布から	C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
	15	民主主義と多数決の近くて遠い関係	C10 遵法精神、公德心
	16	スカイツリーにかけた夢	A5 真理の探究、創造
10	17	人って、本当は？	D22 よりよく生きる喜び
	18	消防団	C12 社会参画、公共の精神
	19	秀さんの心	B7 礼儀
	20	段ボールベッドへの思い	C13 勤労
11	21	いじめ防止スローガン作成	C11 公正、公平、社会正義
	22	明日、みんなで着よう	C11 公正、公平、社会正義
	23	嫌われるのを恐れる気持ち	A3 向上心、個性の伸長
	24	「桃太郎」の鬼退治	B9 相互理解、寛容
12	25	私の町	C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
	26	優しさの光線	A3 向上心、個性の伸長
1	27	僕の仕事場は富士山です	D20 自然愛護
	28	宇宙の始まりに思いを寄せて	D21 感動、畏敬の念
	29	箱根駅伝に挑む	A2 節度、節制
2	30	つながる命	D19 生命の尊さ
	31	夢の力	A4 希望と勇気、克己と強い意志
	32	泣きすぎてはいけない	D19 生命の尊さ
3	33	気づかなかったこと	B6 思いやり、感謝
	34	泣いた赤おに	B8 友情、信頼
	35	まとめ（道徳の学びを振り返ろう）	指定なし